

# 時代を映す絵画たち

～コレクションにみる戦後美術の歩み

**4/10(日)～6/12(日)10:00～18:00**

※入館は17:30まで。月曜休館。

絵画作品は、時代の世相や思想をさまざまな形で映します。今回、戦後から近年に制作された油彩画など約70点を展示し、戦後美術の流れを振り返ります。

▶ **観覧料**: 一般800円、高校・大学生と65～74歳の方600円、中学生以下と75歳以上の方無料 ※一般以外の方は、年齢を確認できるものが必要です。 ※その他割引制度あり。

**場所・問合せ** 練馬区立美術館 ☎3577-1821



高松次郎「影」 昭和53年  
アクリル・キャンバス



北川民次「姉弟」  
昭和24年 油彩・キャンバス



谷川晃一「春の月」  
平成2年 リトグラフ・紙

**【関連イベント】**

催し名など	対象	日時	定員(抽選)
<b>1</b> 鑑賞プログラム 「トコトコ美術館vol.40 テーマ:かがみ」	3歳以上の未就学児と保護者	4/23(土)①10:30～12:00 ②14:00～15:30 4/24(日)③10:30～12:00 ④14:00～15:30	各5組
<b>2</b> 学芸員によるスライドトーク	-	⑤5/14(土)14:00～14:20 ⑥6/4(土)14:00～14:20	各30名
<b>3</b> ワークショップ「五月の風と光を描く」 ▶ 講師: 美術家/浅見貴子 ▶ 費用: 1,000円	小学生以上	5/28(土)10:30～17:00	10名

※1・3は当日の鑑賞券、2は鑑賞券の半券が必要です。

▶ **申込**: 往復ハガキで①催し名(1～3)の別。1は①～④の別、2は①②の別も ②参加者全員(1は3名(お子さん2名、保護者1名)まで。2・3は2名まで)の住所・氏名(ふりがな)・年齢(学生は学年も)・電話番号を、1 4月8日 2 4月28日 ⑤5月20日 ③5月13日(必着)までに〒176-0021 貫井1-36-16 練馬区立美術館へ ※同ホームページ(<https://www.neribun.or.jp/museum.html>)からも申し込みます。

**お休みします【展示作業のため】 3/28(月)～4/9(土)**

企画展

# 昭和初期の練馬ライフ

観覧無料



武蔵野電車沿線整理地鳥瞰図 昭和13年

**4/9(土)～6/5(日)**  
9:00～18:00 ※月曜休館。

大正の終わりから、東京郊外へ移り住む人が増え、練馬でも住宅地の開発が進みました。この頃の練馬は電気が通っていた半面、ガスや水道の普及が進まず、昔ながらの暮らしが続いていました。本展では、大正の終わりから昭和初期の「練馬の住まいと暮らしの様子」を紹介します。

**場所・問合せ** 石神井公園ふるさと文化館 ☎3996-4060



真空管ラジオ

扇風機

蓄音器

**【関連イベント】**

催し名など	日時	定員
<b>1</b> 学芸員によるスライドトーク	4/30(土)、5/18(水)14:00～14:30	各90名(先着順)
<b>2</b> 実演「展示品の蓄音器の音を聞いてみよう」	4/20(水)、5/3(祝)・26(木)10:00～10:20	各30名(先着順)
<b>3</b> 講演会「昭和初期の郊外住宅地開発とその住まいと暮らし～東京近郊を中心として」 ▶ 講師: 神奈川大学教授/内田青蔵	5/8(日)14:00～15:30	90名(抽選)

▶ **申込**: 1・2 当日会場へ 3 往復ハガキで①催し名②参加者全員(2名まで)の住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、4月14日(必着)までに〒177-0041 石神井町5-12-16 石神井公園ふるさと文化館へ ※同ホームページ(<https://www.neribun.or.jp/furusato.html>)からも申し込みます。